

## 令和4年度事務事業評価シート

### 【基本事項】

<b>事務事業名</b>	<b>町債(借入金)の返済</b>			<b>担当課名</b>	総務課
(予算書コード)	11-01-01-10-01、11-01-02-10-01・12-01			<b>担当係名</b>	財政係
<b>事業区分</b>	単年度予算	運営方法	直 営		
<b>事業の開始・終了</b>	年	月	～	年	月
<b>根拠法令等の名称</b>	地方自治法 (事業に始期又は終期がある場合に記入)				

### 【事業の概要及び分析】

<b>事業の目的</b> (誰に対して) (何のために) (何を行うか)	町債については、施設整備等にあたり町財政負担の平準化や町民負担の公平化を目的に借入れを行った金額について、財政健全運営のために計画的に返済を行う。 一時借入金については、会計年度内の歳入と歳出のズレに伴う資金繰りのため、一時的に借入れを行った金額の返済を行う。						
<b>事業の活動成果</b> (事業の実施によりどのような状態にしたいか)	<b>指標名</b>	<b>指標の算出方法</b>	<b>単位</b>		<b>令和3年度</b>	<b>令和4年度</b>	<b>令和5年度</b>
	町債返済金及び一時借入金 利子の支払金	行財政経営プランに沿った公債費の返済金額を目標値に設定し、計画的に返済を行う	千円	目 標	830,000	920,000	950,000
				実 績	821,808	906,852	
達成率	101.0%	101.4%					

### 【投入されたコスト・業務量】

		令和3年度決算		令和4年度決算		令和5年度予算		
<b>事業費</b>	<b>事業費 A</b>	821,808 千円		906,852 千円		940,747 千円		
	うち 会計年度任用職員人件費	人	千円	人	千円	人	千円	
	<b>正規職員人件費 B</b>	0.30 人	1,985 千円	0.30 人	1,971 千円	0.30 人	2,033 千円	
<b>事業費合計 C (A+B)</b>		823,793 千円		908,823 千円		942,780 千円		
<b>財源内訳</b>	<b>特定財源</b>	国の負担	千円	千円	千円	千円	千円	
		県の負担	千円	千円	千円	千円	千円	
		町の借入	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		うち 使用料・手数料 D	千円	千円	千円	千円	千円	千円
<b>一般財源 (町の負担)</b>		823,793 千円		908,823 千円		942,780 千円		
<b>受益者負担率 (D/C)</b>		0 %		0 %		0 %		

### 【事業の評価】

区 分	評 価	説 明
<b>妥当性</b>	A	町が行う必要があるか 国・県・民間・住民と役割分担できないか 法律で義務付けられている 地方債管理は、地方自治法第230条に定められた町の事務である。
<b>公平性</b>	A	受益者が偏っていないか 適切な費用負担を求めているか 適切である 返済する元金、利子の確定値により確実な返済を行っている。
<b>効率性</b>	A	予算、人員と成果を踏まえ、事業が効率的に行われているか 適切である 財務会計システムを活用し、効率的に行われている。
<b>達成度</b>	A	事業の活動成果は目標を上回っているか (下回っている場合は、その理由) 目標値以上である 施設整備等の投資的事業の計画的な実施により、行財政経営プランに沿った返済を行うとともに、公債費の縮減を図ることができた。

<b>総合評価</b>	<b>現状維持</b>	公債費については、引き続き行財政経営プランに沿った確実な返済と借入の抑制を図る。また、一時借入金については、外部調達ではなく財政調整基金、公共施設整備基金などを活用した基金繰替運用を積極的に行い、最小限の費用による財政運営を行う。
前年度の総合評価 (評価が変わった場合はその理由)	現状維持	